

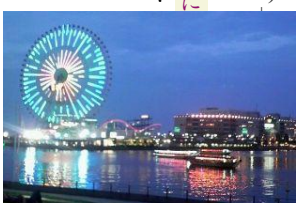
彩の歳時記

平成二十八年

八月

夏夜追涼 揚万里
夜熱依然午熱同
開門小立月明中
竹深樹蜜虫鳴処
時有微涼不是風

夏夜(かや)涼を追ふ 「夜熱依然として午熱に同じ、門を開け 小(しばし)く立つ 月明(げつめい)の中 竹深く 樹密にして虫鳴く処、時に微涼有るも是れ風ならず」
「夜の暑さは、まだまだ昼と同じで 門を出てしばらく佇む 月明かりの中、竹は うっそう 樹は濃く茂り、虫が鳴いた。その時ふっと涼しくなった。風も無いのに」
『夏夜追涼』は南宋の詩人・揚万里(ようばんり)【1127～1206】の作、
「夏の夜に涼を求めて」。八月も旧盆を過ぎる頃から、日中の陽射しは眩しいのですが、いつの間にか、秋の気配が街頭に漂うのを感じ、ふと寂寥感が過ぎります。空調の影響から熱帯夜が続く昨今、少しずつ長くなる夜に、ゆったりとしたひと時を過ごしたいものです。



八月の暦

葉月 旧暦なので葉が紅葉して落ちる月「葉落ち月」の略。

一日 八朔(はっさく) 陰暦の八月朔日(ついたち)のこと。農家で新穀を親しい人に贈る習慣がありやがて、町家にも広がった。八朔柑は江戸末期に広島県因島で発見された。この頃が食べ頃なことから、1886年に命名された。



夏祭りの季節

二日～七日 青森ねぶた 三日～六日・秋田竿燈 六～八日仙台七夕(東北三大祭)
九日・土佐よさこい 十二日～十五日 徳島阿波踊り 十三日～十六日 郡上踊り

慰霊の夏

六日・九日 原爆の日

昭和二十年(1945)年八月六日には広島市、同九日には長崎市に原子爆弾が投下され、広島では十四万、長崎では七万人を超す死者。



この両日を忘れない過去として刻むため、広島・長崎それぞれに原爆記念日とした。今年五月、現職の米大統領として初めて、オバマ大統領が広島を訪問、話題を呼んだ。立秋の前後に当たることから、夏または秋の季語に。広島は原爆ドームは世界遺産、長崎の「長崎平和祈念像」は掲げた右手は原爆の脅威を、水平に伸ばした左手は平和を、横にした足は原爆投下直後の市の静けさを、立てた足は救った命を表し、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈っている。



七日 立秋【二十四節気】暦の上では秋。実際は暑さ厳しく、夏本番
十一日 山の日 今年から実施される国民の休日。

十五日 終戦記念日【七十一回目】 戦死者約二百二十万人、空襲の死者は約二十四万人の犠牲を無駄にしないように。全国戦没者追悼式が天皇・皇后両陛下等が参列し、日本武道館で開かれる。

月遅れのお盆

現在「七月盆」「八月盆(月遅れ盆)」「旧盆」と三つのお盆の時期が見られるが、

十六日 大文字焼・五山送り火 東山の「大文字」が送り火の代名詞だが、金閣寺大北山の「左文字」松ヶ崎西山・東山の「妙・法」西賀茂船山の「船形」、嵯峨曼荼羅山の「鳥居形」が同夜相前後して点火され、京都の夏の夜空を彩る。



二十三日 処暑【二十四節気】暑さが落ち着く時期。
三十一日 二百十日 立春から二百十日目。嵐(野分)の襲来が多い。

八月の歌 グリーングリーン 1963年

米のフォークグループの「ニュー・クリステイ・ミンストレルズ」の『Green Green』が後に日本語の歌詞がつき、NHK「みんなのうた」になり、日本中に広まった。詞は翻訳ではなく片岡輝【1933～2015】独自の詞。片岡は東京家政大学長。他に「とんでったバナナ」「未来少年コナン」など。2010年、嵐の麒麟ビールのCM。Jリーグ柏レイソルの応援歌、常磐線牛久駅発車メロディーなどに採用されている

ある日ババと二人で語り合ったさ
この世に生きるよるこび そして悲しみのことを
グリーングリーン 青空には小鳥が歌い
グリーングリーン丘の上にはララ緑がもえる
その時ババが言ったさ ぼくを胸にだき
つらく悲しい時にも ララ泣くんじやない
グリーングリーン青空にはそよ風ふいて
グリーングリーン丘の上にはララ緑がゆれる
ある朝ぼくは目覚めて そして知ったさ
この世にっらい悲しいことがあるってことを
グリーングリーン青空には雲が走り
グリーングリーン丘の上にはララ緑がさわぐ
後略